



# 1 学年だより

第3号

令和4年5月16日(月)

## 高校で初めての定期考査が間近に ～復習をすることで、定着がはかれる～

1学期中間考査が5月23日(月)から4日間の日程で実施されます。「数日前にまとめて勉強すれば何とかできるのではないか。」などと考えているならば、それは実に甘い見通しというものです。普段の授業を中心とした学習に、更なる復習の要素を付加し、学習した内容を定着させる必要があります。

入学後1ヶ月間は、高校生活に心身ともに慣れるということを目指しあまり無理せずに過ごしてきたと思いますが、これからは、学習を中心とした生活スタイルの確立を意識してほしいと思います。そのためには、**平日2時間、休日は4時間の学習を目指してください。**特に、土・日曜日の時間の使い方が鍵になります。ここで、各教科の復習ができます。週末、部活動で半日を使ったとしても、学習する時間は確保できるはずで、「部活動をやって疲れているから勉強はできなくても仕方ない・・・」などと部活動を言い訳にすることはやめましょう。自分を律し行動する高校生を目指し、地道に取り組んでください。

### 喜多方高校での部活動

本校では、部活動の意義を大いに認めつつも、家庭学習時間を確保して高校生としての基礎学力を付けるということを基本として部活動を位置付けています。そのために、下記のような規則があります。部活動は、あたえられた条件の中で取り組んでこそ評価されるものです。

#### (1) 学習と部・委員会活動の両立に関する申し合わせ事項

- ① 平日・土日曜日あわせて、1ヶ月あたり6日以上は活動を休みとすること。
- ② 練習時間は平日2時間、学校の休業日3時間、ただし、練習試合に関しては終日可とする。
- ③ 考査前学習会への出席の方を、部・委員会活動に優先させること。
- ④ 列車通学生については、18時台の列車で帰るようにすること。

#### (2) 定期考査前と考査中の部委員会活動について

- ① 考査時間割の発表日から終了日の前日までは、原則として部活動を停止する。  
ただし、顧問が申請をすれば1時間以内の活動を認める。
- ② 学年末考査期間は考査1週間前を含めて、原則として活動を禁止する。
- ③ 考査期間1週間前の練習試合は原則禁止とする。ただし、特別な事由がある場合は、顧問が手続きをとることにより認める場合がある。



### 【連絡】～生徒のみなさんへ

(1) コース・文理・科目選択に向けて、下記のweb検索サイトを利用してみましょう。

- マナビジョン ● スタディサポート進学 ● 逆引き大学辞典

(2) 学校設定科目「国際交流」参加希望について

国際交流履修申請書の提出締切は5月18日です。臆することなく積極的に参加してほしいと思います。

(3) 考査前学習会について

5月21日(土)8:00～12:20の時間帯、希望者を対象として「考査前学習会」を実施します。詳細については各クラスに掲示してある実施要項で確認してください。

(4) 4月30日(土)に開催したPTA総会および1学年PTA懇談会の資料について

当日欠席されたご家庭へ、後日(5月6日)に全クラスで配付しました。いまだに保護者の方へ渡していない生徒は、必ず手渡しをしてください。

# 喜高1年生 ベネッセ スタディサポート結果分析

(令和4年4月16日実施)

## 『1学年のスタートがスムーズにきているか』

高校に入学して1か月が過ぎ、中学時代より勉強や部活動で忙しくなったと感じることが多々あることと思います。高校生活をスムーズにスタートするために、今回の結果を各自しっかり分析しましょう。

### ～学習状況リサーチ結果より～

<学力・学習バランス>



要注意!!

①(学力○ 学習習慣×) 7名 (5.1%)	②(学力○ 学習習慣○) 68名 (50.0%)
③(学力× 学習習慣×) 9名 (6.6%)	④(学力× 学習習慣○) 52名 (38.2%)

要改善!!

- 学年全体の平均学習時間  
平日：1時間22分 (目標:2時間)  
休日：2時間25分 (目標:4時間)
- 平日の学習時間が1時間未満の割合  
25.5%
- 学習と部活動の両立について  
○両立できている割合 52.2%  
×両立できていない割合 41.2%

#### ①タイプ・・・学習習慣要改善型

学力の結果は良好だが、実はその成績にふさわしい学習習慣が身に付いていない生徒。今後、**成績が下降する可能性がある。**

#### ②タイプ・・・学習スタイル定着型

しっかりとした学習スタイルが定着している生徒。したがって、学習習慣と学力がかみ合っている。**現在のペースを維持すること。**

#### ③タイプ・・・学習スタイル未定着型

学力・学習習慣ともに、まだまだ努力が必要な生徒。日頃の授業についていくためにも、**学習の取り組み方を見直していくことが重要である。**

#### ④タイプ・・・学習方法要チェック型

学習習慣は身に付いているので、学習方法を見直すなど、もうひと頑張りすれば成績が伸びる可能性のある生徒。**弱点分野の克服を目指し、復習を重点的に行った方が良い。**

### ★個人成績表の「GTZ値」って何？

GTZとは「学習到達ゾーン」の略語で、ベネッセの進研模試やスタディサポート等で用いられている学力指標のことで、個人の学力レベルの到達度を表している。具体的には、全国における個人の学力の位置を(S1～S3)→(A1～A3)→(B1～B3)→(C1～C3)→(D1～D3)の15段階で評価したもので、もっとも学力到達度が高いのがS1となる。

ちなみに全国偏差値50(平均値)に相当するのが「B1～B2レベル」で、ベネッセが提示する目安によれば、B1～B2レベルとは「中堅国公立大学・中堅私立大学挑戦レベル(今後学力が向上していけば合格する可能性がある)」に相当する。

